

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	肝胆膵手術における短期・長期予後に関する検討	
1. 研究の目的と方法	肝胆膵外科手術における周術期の検査所見および身体所見と術後短期・長期予後との関係について解析することにより、術後合併症や予後を規定する因子を明らかにし、治療成績の改善を目指すことにあります。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	研究機関： <input checked="" type="checkbox"/> 附属病院 <input checked="" type="checkbox"/> 葛飾医療センター <input checked="" type="checkbox"/> 第三病院 <input checked="" type="checkbox"/> 柏病院 <input checked="" type="checkbox"/> 川口市立医療センター <input checked="" type="checkbox"/> 佐久医療センター <input checked="" type="checkbox"/> 国際医療福祉大学病院 対象となる方：膵臓腫瘍、胆道腫瘍、肝臓腫瘍、良性膵疾患、転移性膵腫瘍、肝臓良性疾患、転移性肝腫瘍、その他肝疾患、胆囊良性疾患、膵臓疾患の患者さんで上記施設において2000年1月1日～2024年12月31日の間に肝胆膵外科手術を受けられた方。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3)情報の種類	診断名、年齢、性別、身体所見、既往症、検査結果（血液検査、画像検査）、診療録、手術録、病理検査所見、術後合併症、悪性腫瘍の場合の再発・予後、周術期投与薬剤
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 外科学講座 氏名 池上 徹
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 外科学講座 春木孝一郎
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	川口医療センター 外科 部長 伊藤隆介（機関の長：立花栄三） 佐久医療センター 消化器外科 部長 阿部恭平（機関の長：宮佳典） 国際医療福祉大学附属病院 外科 准教授 安田淳吾（機関の長：鈴木 裕）

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	<p>この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(1)に記載された研究代表機関のもとに、以下の方法で集められます。</p> <p>提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付</p> <p>試料・情報の利用または提供予定開始日：2016 年 2 月頃～</p>
【問い合わせ先】	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 外科学講座</p> <p>研究責任者：教授 池上 徹（いけがみ とおる）</p> <p>窓口担当者：講師 春木孝一郎（はるき こういちろう）</p> <p>電話番号：03-3433-1111（内線 3401）</p> <p>対応時間：平日 09:00 ~ 17:00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。